

2 資格認定教育

1) 認定看護管理者教育課程サードレベル 募集要項

1 目的

多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する

2 研修期間

前期 7月1日(月)～8月8日(木) 後期 8月18日(日)～8月30日(金) (31日間)

3 定員/会場

- (1) 定員 20名
- (2) 会場 岩手県看護協会 看護研修センター

4 受講要件と提出書類

【受講要件】

- (1) 日本国の看護師免許を有する者
- (2) 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者
- (3) 認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者
または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者

【提出書類】*はホームページからダウンロードできる

- (1) 認定看護管理者教育課程サードレベル受講申込書 *
- (2) 認定看護管理者教育課程セカンドレベルの修了者は修了証書の写し
- (3) 勤務証明書 *
- (4) 小論文 *

テーマ:「地域における自施設の役割を明確にし、ヘルスケア提供システムの課題と組織的に改善すべき点について、看護部のトップマネジャーの視点で述べてよ」

形式:①A4版用紙を縦置きし、横書き記入

②1行40字×42行(フォントサイズ10.5ポイント MS明朝体)

1行目	小論文(中央)
2行目(空欄)	
3行目	「地域における自施設の役割を明確にし、ヘルスケア提供システムの課題と
4行目	組織的に改善すべき点について、看護部のトップマネジャーの視点で述べてよ」
5行目(空欄)	
6行目	(右寄せで) <u>氏名記入</u>
7行目(空欄)	
8行目	本文を書き始める

1200～1400文字以内

*図、表は使用しない。参考文献等の記載は不要

<小論文評価基準>

課題の理解	1. テーマと内容が一致している。 2. テーマの理解ができている。
思考力	1. 自施設の課題が客観的に述べられている。 2. 自施設の展望が客観的に述べられている。 3. マネジメントを意識した自らの働きかけの記述がある。 4. 意志や意欲が表現されている。
論述能力	1. 論理的な文章構成である。 2. 所定の形式に沿って記述されている。 3. 誤字・脱字などがなく表記に誤りがない。

5 申込期間

4月5日（金）～4月12日（金）必着

6 申込方法

提出書類（1）～（4）に必要事項をみれなく記入し申込期間内に申し込む

7 受講者の選考方法

認定看護管理者教育運営委員会で受講者を決定する

<選考基準>

- （1）受講要件を満たしている
- （2）受講動機における自己の課題が明確であり、論点・論旨が明確である
- （3）小論文は評価基準に基づき選考する

8 受講決定

提出書類に基づき受講要件を審査の上、応募者及び所属長宛に通知する

9 受講経費

会 員 受講料：260,000円（科目レポート審査料含む）

非会員 受講料：490,000円（科目レポート審査料含む）

※他にテキスト代・資料代：必要時実費徴収

10 修了要件

- （1）各教科目の所定の時間の4／5以上の出席がある
- （2）各科目レポートの評価がC以上である
（A：80点以上、 B：79～70点、 C：69～60点、 D：59点以下）
- （3）認定看護管理者教育運営委員会において（1）（2）に基づき修了審査する
- （4）修了者には、修了証書を岩手県看護協会会長名で交付する

11 教育課程（カリキュラム）と講師

教 科 目	単 元	教 育 内 容	講 師	時 間 数	
ヘル ス ケ ア シ ス テ ム 論 Ⅲ	社会保障制度・ 政策の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保障の将来ビジョン ・ グローバルな視点から見た保健医療福祉 WHO の活動、国連 SDGs 等 	国際医療福祉大学赤坂心理・ 医療福祉マネジメント学部 学部長・教授 高 橋 泰	3	30
	看護制度・政策 の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護制度の変遷と政策 ・ 看護政策に関する審議会・検討会 ・ 制度変化に伴う看護管理への影響と対応 ・ 看護戦略とパワーの活用 ・ 職能団体による政策への影響力 	公益社団法人日本看護協会 副会長 齋 藤 訓 子	6	
	ヘルスケアサ ービスの創造	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルスケアサービスのマーケティング ・ 社会的企業（ソーシャルエンタープライズ） ・ NGO、NPO のヘルスケアサービス ・ 地域連携を基盤としたヘルスケアサービス ・ ヘルスケアサービスのシステム構築 	慶應義塾大学看護医療学部 大学院 健康マネジメント研究科 准教授 小 池 智 子	9	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護事業の開発と起業 ・ テクノロジーの活用 	一般社団法人オフィス萩原 代表理事 萩 原 正 子	3	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅におけるヘルスケアサービス 	公益財団法人日本訪問看護 財団 常務理事 佐 藤 美穂子	3	
演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護制度・政策 	山形大学大学院医学系研究 科医療政策学講座 教授 村 上 正 泰	6		
組 織 管 理 論 Ⅲ	組織デザイン と組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織のデザイン ・ 組織間ネットワークのデザイン 	学校法人聖路加国際大学 法人事務局長 渡 辺 明 良	6	30
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域連携ネットワークのデザイン 	岩手医科大学看護学部 教授 野 村 陽 子	3	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ ダイバーシティ ・ 組織運営に必要な能力 ・ 経営者に求められる役割と必要な能力 ・ 組織戦略とパワーの活用 ・ 経営者としての成長と熟練 	獨協医科大学統括看護部長 SDセンター副センター長 佐 山 静 江	6	
	組織における 倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織における倫理的課題 ・ 倫理的課題に対する組織的対応 	オフィス KATSUHARA 代表 勝 原 裕 美 子	12	
	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ トップマネジャーとしての視野を広め、自 己の経営課題を効果的にプレゼンテーショ ンできる 	盛岡市立病院 看護部長 認定看護管理者 柳 田 美 喜 子	3	

教 科 目	単 元	教 育 内 容	講 師	時 間 数	
人 材 管 理 Ⅲ	社会システム と労務管理	<ul style="list-style-type: none"> 賃金制度 人事考課 能力評価のためのシステムの構築 労働関係法規の最新の動向 建設的な労使関係の構築 ハラスメントの組織的対応 	一般財団法人三友堂病院 財務部長 人事企画部部长 田 林 義 則	6	15
		<ul style="list-style-type: none"> 人材フローのマネジメント 	一般財団法人大原綜合病院 特任副院長 看護人材開発部長 佐 藤 エキ子	6	
	看護管理者の 育成	<ul style="list-style-type: none"> 看護管理者の能力開発、活用 	獨協医科大学統括看護部長 SDセンター 副センター長 佐 山 静 江	3	
資 源 管 理 Ⅲ	経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> 医療経営の特徴と課題 医療施設課題 戦略策定 	社会福祉法人恩賜財団済生 会 神奈川県済生会 支部長 正 木 義 博	6	30
		<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉施設等の経営の特徴と課題 戦略策定 	介護老人保健施設せんだん の丘 施設長 土 井 勝 幸	3	
		<ul style="list-style-type: none"> 看護ステーション等の経営の特徴と課題 戦略策定 	一般社団法人オフィス萩原 代表理事 萩 原 正 子	6	
	財務管理	<ul style="list-style-type: none"> 財務会計 管理会計 資金管理 	公益社団法人 医療・病院管 理研究協会 調査企画部長 川 島 英 樹	9	
	組織的情報管 理	<ul style="list-style-type: none"> 関連法規の遵守 地域における情報共有・活用 	岩手県立大学看護学部 教授 上 林 美保子	6	
質 管 理 Ⅲ	経営と質管理	<ul style="list-style-type: none"> ガバナンスとアカウンタビリティ 	社会福祉法人恩賜財団済生 会 神奈川県済生会 支部長 正 木 義 博	6	30
		<ul style="list-style-type: none"> 医療・看護の質とデータ活用 第三者評価 	青森県立保健大学 健康科学部看護学科 教授 鄭 佳 紅	6	
	組織の安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 安全文化の醸成 医療事故防止のための組織的対策 危機管理 	岩手医科大学 看護学部長 教授 嶋 森 好 子	12	
	演習	<ul style="list-style-type: none"> 自施設のベンチマークを行い、人事配置、財 務計画を策定する 	青森県立保健大学 健康科学部看護学科 教授 鄭 佳 紅	6	

教 科 目	単 元	教 育 内 容	講 師	時 間 数	
統 合 演 習 Ⅲ	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を踏まえ、受講者自身が演習内容を企画し実施する <ol style="list-style-type: none"> 1 自組織について分析し、組織の改善計画を立案する。または、トップとして組織を分析し改善計画を立案する。 2 保健医療福祉組織や看護の現状について、保健医療福祉に関する統計データを分析し、保健医療福祉サービス提供体制の改革ビジョンを策定する。 1 又は 2 を行う 	岩手医科大学附属病院 看護部長 認定看護管理者 佐藤悦子 盛岡赤十字病院 看護部長 認定看護管理者 及川千香子 岩手県立中央病院 看護部長 認定看護管理者 高橋明美 盛岡市立病院 看護部長 認定看護管理者 柳田美喜子	18	45
		<ul style="list-style-type: none"> ・保健医療福祉に関する政策提言を行う 	山形大学大学院医学系研究科 医療政策学講座 教授 村上正泰	9	
	実習	<ul style="list-style-type: none"> ・経営の実際を学ぶための実習を受講者自身が企画し実施する シャドウイング等 	専任教員	18	

180 時間